

鳥羽商船高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	キャリアデザイン 2	
科目基礎情報							
科目番号	24201			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	情報機械システム工学科			対象学年	4		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	使用しない						
担当教員	北原 司,脇坂 賢						
到達目標							
1.自分の適性や志向を知る 2.社会においてどのような業種や職種があるかを説明できる 3.自分の意見を分かりやすく発信するための文書作成、プレゼンテーション、意見交換ができる							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	自分の適性や志向が明確になっている			自分の適性や志向が漠然とわかっている		自分の適性や志向がわかっていない	
評価項目2	業種や職種について説明できる			一部の業種や職種について説明できる		業種や職種について説明できない	
評価項目3	自分の意見を分かりやすく発信するための文書作成、プレゼンテーション、意見交換ができる			自分の意見を発信するための文書作成、プレゼンテーション、意見交換が概ねできる		自分の意見を分かりやすく発信するための文書作成、プレゼンテーション、意見交換ができない	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	自己分析や業界分析を行うことで、受講者自身のキャリアパスを考える契機とする						
授業の進め方・方法	各クラス毎に自己分析や業界分析を行う						
注意点	・グループワークでは、積極的に参加すること ・キャリア教育推進室主催の講演会や行事により、授業計画と変更になることがある。 ・新型コロナウイルスの感染拡大状況等による授業の実施形態の変更が生じた場合、その状況に合わせて、授業計画と変更になることがある。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	科目概要説明 インターンシップ他今年度のキャリア関係行事等の説明		キャリアデザイン2の学習内容と意義について理解する		
		2週	企業が求める人材像		昔と今で必要とされる人材が変化していることを理解し、説明できる		
		3週	自己分析（1）		自己PR等を書くにあたっての自分の長所短所等を挙げることができる		
		4週	自己分析（2）		自己PR等を書くにあたっての自分の長所短所等を文章で表現できる		
		5週	自己PR（1）		インターンシップのエントリーシートを作成することを想定して、自己PRを箇条書きで書ける		
		6週	自己PR（2）		インターンシップのエントリーシートを作成することを想定して、自己PRを文章で作成できる		
		7週	就職と進学のキャリアの違い、高専からの進学の選択肢		高専から専攻科あるいは大学へ進学(編入学)するメリットとデメリットを説明できる		
		8週	企業情報の読み方		初任給、年収、年俸、手取り、等の、給与などに関する情報について、読み取ることができる		
	2ndQ	9週	給与・税金・社会保障料の仕組み		会社の給与体系、および、所得税、源泉徴収、社会保障料などの仕組みについて説明できる		
		10週	自己分析と他者分析（客観分析）との差異		自己PR等において、自分自身の思っていることと他者との間で、相違があることがあることを理解する		
		11週	ビジネスマナー		インターンシップをはじめ、夏季休暇中に企業主催行事に参加するにあたってのマナー等を理解し振る舞うことができる		
		12週	業種・職種・業界分析（1）		業種・職種・業界についてその違いを調べ、説明することができる。		
		13週	業種・職種・業界分析（2）		業種・職種・業界について調べ、自分に適した職業を理由とともに説明できる		
		14週	自己分析（3）		夏季の活動等を踏まえ、就職活動にあたっての自己PRや適性について分析できる		
		15週	自己分析（4）		夏季の活動等を踏まえ、就職活動にあたっての自己PRや適性について分析できる		
		16週	就職活動の流れ		就職活動に取り組むにあたっての、今後のスケジュールを説明できる		
後期	3rdQ	1週	会社説明会		会社説明会における目的、流れを説明できる。		
		2週	採用選考の選考方法		就職選考における選考方法について、面接、SPI試験、その他試験の選考方法の種類とその概要を説明できる		

		3週	労働基準法・労働環境	労働基準法や、労働環境、働き方改革について説明できる
		4週	OB,OGの進路講演（１）	OB講演を聴講し、具体的なキャリアパスを理解することができる
		5週	OB,OGの進路講演（２）	OB講演を聴講し、具体的なキャリアパスを理解することができる
		6週	適性検査・SPI（１）	適性検査の実施方法や実施形態を説明できる 実例からSPIの出題問題を解き、具体的な対策がとれる
		7週	SPI（２）	実例からSPIの出題問題を解き、具体的な対策がとれる
		8週	履歴書の書き方（１）	就職活動にあたって必要となる履歴書を作成できる
	4thQ	9週	履歴書の書き方（２）	就職活動にあたって必要となる履歴書を作成できる
		10週	エントリーシートの書き方（１）	就職活動にあたって必要となるエントリーシートを作成できる
		11週	エントリーシートの書き方（２）	就職活動にあたって必要となるエントリーシートを作成できる
		12週	グループディスカッション	就職選考過程で実施される、グループワークやグループディスカッションを体験し、その対応ができる
		13週	面接対策（１）	就職活動にあたって個人面接での対応ができる。
		14週	面接対策（２）	就職活動にあたってオンライン面接での対応ができる。
		15週	内定とその対応	内定＝就職とは限らない場合があることを理解し、内定後の対応が適切にとれる
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	3	
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	3	
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	3	
				合意形成のために会話を成立させることができる。	3	
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	3	
				書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に収集することができる。	3	
				収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情報を選択できる。	3	
				収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要があることを知っている。	3	
				情報発信にあたっては、発信する内容及びその影響範囲について自己責任が発生することを知っている。	3	
				情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要であることを知っている。	3	
	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	目的や対象者に応じて適切なツールや手法を用いて正しく情報発信(プレゼンテーション)できる。	3	
				周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	3	
				自らの考えで責任を持つものごとに取り組むことができる。	3	
				目標の実現に向けて計画ができる。	3	
				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	3	
				日常生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	3	
				社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。	3	
				チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	3	
				チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。	3	
				チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。	3	
				リーダーがとるべき行動や役割をあげることができる。	3	
				適切な方向性に沿った協調行動を促すことができる。	3	
				リーダーシップを発揮する(させる)ためには情報収集やチーム内での相談が必要であることを知っている	3	
				法令やルールを遵守した行動をとれる。	3	
				他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。	3	
				技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を認識し、技術者が社会に負っている責任を挙げることができる。	3	
				自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。	3	
				その時々で自らの現状を認識し、将来のありたい姿に向かっていくために現状で必要な学習や活動を考えることができる。	3	
				キャリアの実現に向かって卒業後も継続的に学習する必要性を認識している。	3	

			これからのキャリアの中で、様々な困難があることを認識し、困難に直面したときの対処のありかた(一人で悩まない、優先すべきことを多面的に判断できるなど)を認識している。	3	
			高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業や大学等でどのように活用・応用されるかを説明できる。	3	
			企業等における技術者・研究者等の実務を認識している。	3	
			企業人としての責任ある仕事を進めるための基本的な行動を上げることができる。	3	
			企業における福利厚生面や社員の価値観など多様な要素から自己の進路としての企業を判断することの重要性を認識している。	3	
			企業には社会的責任があることを認識している。	3	
			企業が国内外で他社(他者)とどのような関係性の中で活動しているか説明できる。	3	
			社会人も継続的に成長していくことが求められていることを認識している。	3	
			技術者として、幅広い人間性と問題解決力、社会貢献などが必要とされることを認識している。	3	
			高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように活用・応用されているかを認識できる。	3	
			企業人として活躍するために自身に必要な能力を考えることができる。	3	
			コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき能力」の必要性を認識している。	3	

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	40	60	0	100
基礎的能力	0	0	0	20	30	0	50
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	20	30	0	50